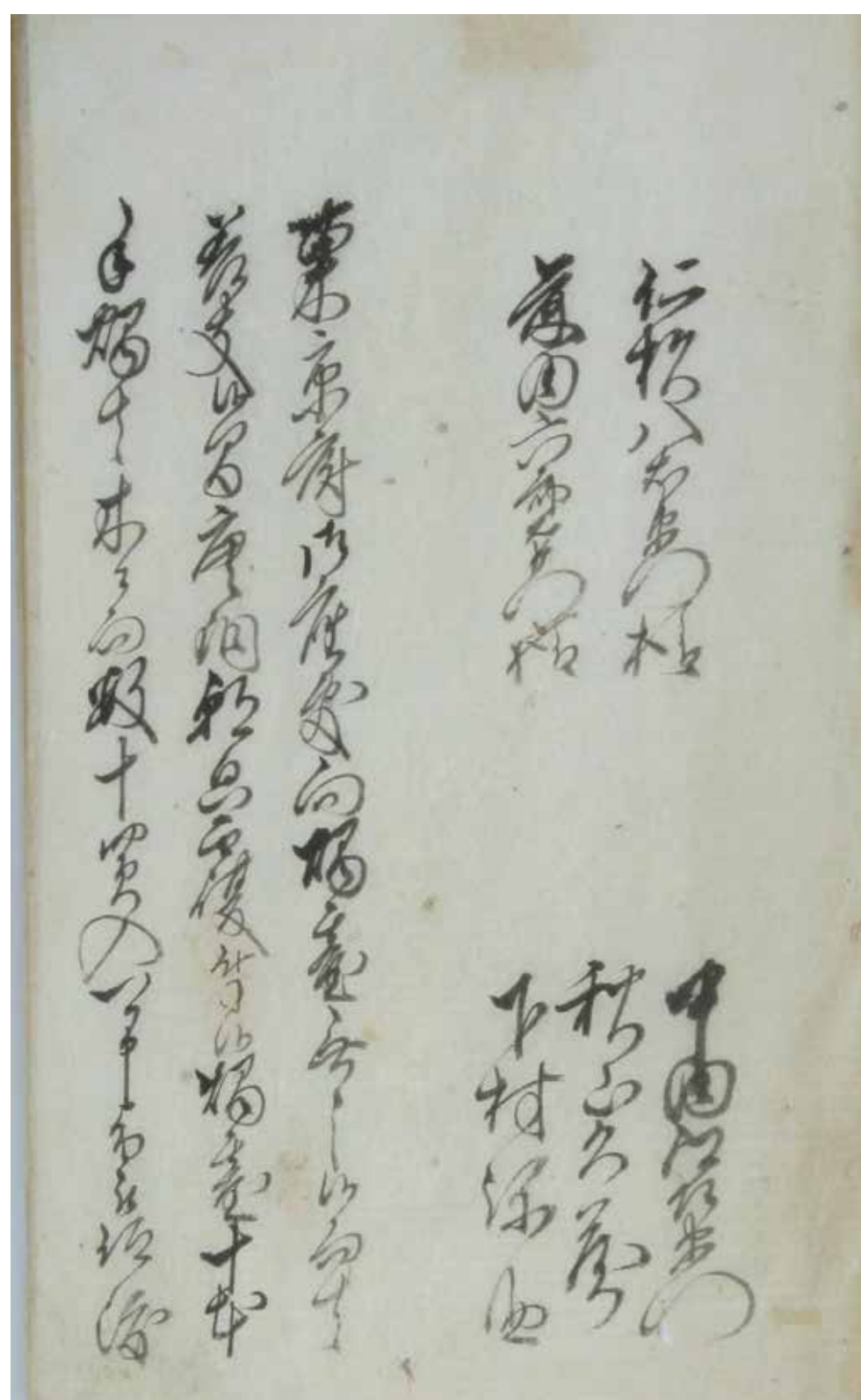
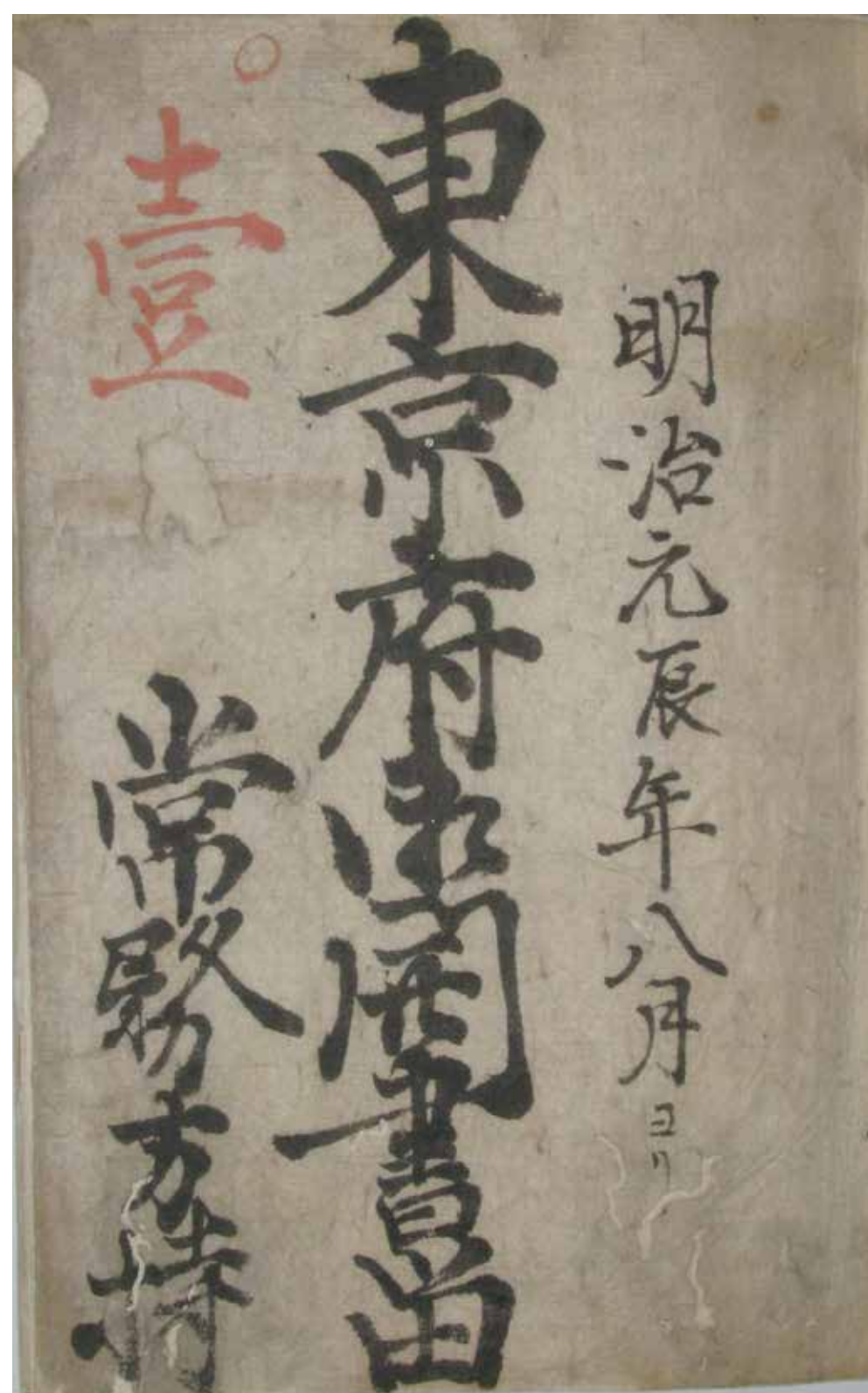


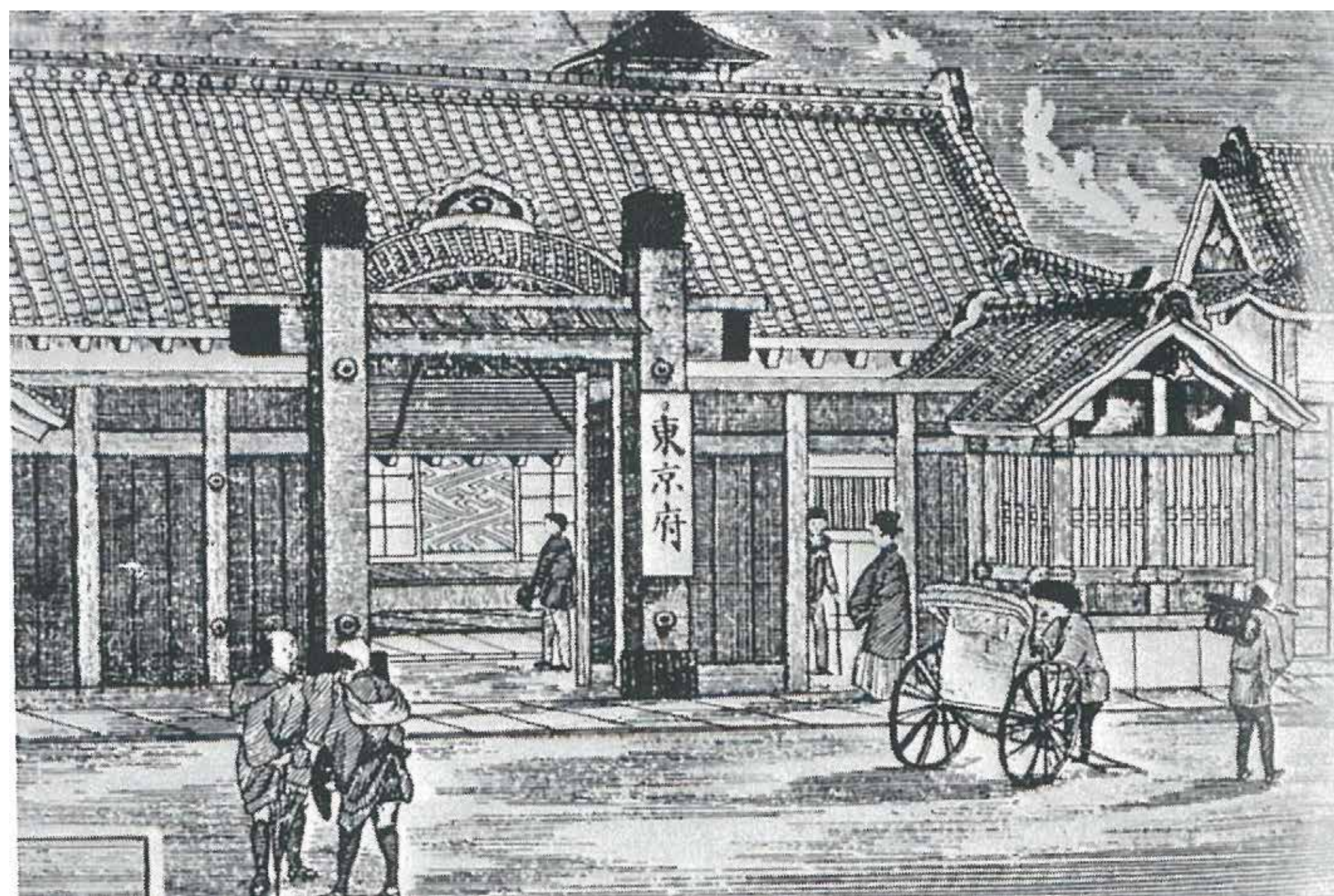
東京府の開庁

—『東京府御開書留』—



『東京府御開書留』

大名屋敷を転用した初代府庁舎では、
執務室が薄暗く、「燭台」の購入が検討されている。



東京府庁舎
元大和郡山藩上屋敷

慶応4年(1868)7月17日、江戸を東京とする詔書が発せられると、町奉行所の機能を継いでいた市政裁判所は廃止され、東京府が設置されます。府庁舎には、幸橋内にあった元大和郡山藩柳沢家の上屋敷があてられました(現千代田区内幸町1-2)。正式な開庁は8月17日、すべての業務を市政裁判所から府庁へ移して執務を開始したのは9月2日でした。

ここに紹介した『東京府御開書留』は、この間の経緯と事務を書き留めた貴重な記録です。